



市民総参加子ども育成運動

子どもへのまなざし運動特集

子どもは、まちの宝、大人がうしながり育て、子どもへのまなざし100%のまちを目指して

「かせっこマーチ」へおいでよ

嘉瀬公民館

よちよち歩きの子から未就園児の子もたちが、リズムカルな音楽とともに思い思いに踊っています。それを優しく見守るのは、ママはもちろんOBママ、民生委員さん、保育士さん、保健師さん、そして地域の皆さん。たくさんのおサポートを受けて、子どもたちはのびのびと遊びを楽しんでいます。それが「かせっこマーチ」。嘉瀬公民館で第2、第4木曜の午前中に行われています。手遊びや絵本の読み聞かせ、毎月のお誕生会を始めさまざまな行事が盛りだくさん。佐賀市で一番始まったという「お譲り会」は評判が良く、ママ同士も仲良くなれます。

子育て中は、誰だって悩みが付きもの。一人で悩むより勇気を出して一歩進んでみませんか。ママ同士で話すことで、あ、こんなところある。と悩みを分かち合うことができると思います。さらに、かせっこマーチには地域の人のたちとの交流もあるの身近な相談相手もできるかもしれません。校区を問わず大歓迎。ぜひ、子育てを楽しんでください。



まなざしリポーター 木下 美樹枝

胃袋も真心もわじわじかみ

アバンセ

全国の男女共同参画センターで毎年取り組まれている「働く母親を応援する、男性・子どもたちの生活自立支援（日本テトラパック㈱・全国女性会館協議会助成）」が、佐賀でも12月6日(日)に開催されました。

すでに定員が埋まる人気の今回は、小学3、4年生と働く母親の12組が参加。子どもたちは最高のプレゼントにしようとお母さんたちが期待に胸を膨らませていた間、アバンセの職員さんや学生ボランティアの皆さんに手伝ってもらいながら、先生に教わった料理を一品一品、一所懸命仕上げていきました。

「ありがとう、いただきます。嬉しいですよ」と感動しきりのお母さんのそばで作り手の男の子が照れくさそうにうなずきます。

立場が変わってみると気づくその人の想い。子どもだけで料理が作れたという自信は何より一番のごちそうだったようです。



まなざしリポーター 熊本 由美子

久しぶりの母校でボランティア

中川副小学校

1年に1回、川副中学校1年生は各々の出身小学校へボランティア活動に出かけます。中川副小学校で活動した8人の中学生を取材しました。体育館に集まった小学1、2年生と共に中学生が自分たちで考えてきた3つのレクリエーションを行いました。まず1番目は読み聞かせ。学校生活のことを絵を使い分かりやすく説明しました。2番目はダンス。簡単な振り付けのポツキータンスを一生懸命教えている中学生たちの真剣な顔つきがとても印象に残りました。3番目は風船遊び。先輩後輩が一緒になって風船を打ちあい笑いあい、和気あいあいの交流タイムになりました。最後は体育館椅子収納庫の清掃をホコリ舞う中で行いました。

中学生たちはボランティア活動を通して母校への恩返し、そして後輩とのふれあいができたことを心の財産として、これからも大いにボランティア活動を広げていくこととしていこう。



まなざしリポーター 的野 勝

子どもふれあいまつり ペタンク大会

西川副公民館

12月5日(土)に西川副まちづくり協議会「子ども子育て部会」で、子どもたちと老人クラブとの交流を図る目的でペタンク大会が実施されました。小学生29人、中学生7人、老人クラブ17人、まち協ボランティア11人、一般15人が参加しました。協ボランティアは事前老人クラブの人から実技と審判と採点の指導があり、小、中、大人の混合6チームに分かれ熱戦開始!

小中学生は初心者ばかりで珍プレーが続出しましたが、慣れるに従い1点勝負にこだわらず、選手も審判も真剣そのもの。冷たい師走の風の中、一喜一憂しながら老若男女お互いの交流を深めました。休憩時間ではまち協ボランティア手作りの、熱々の「あめゆ」が振る舞われみんな大喜びでした。

閉会式では審判等の手伝いをしてくれた中学生の紹介と参加してくれたことを高く評価してもらい、全員喜びと満足感に溢れています。

川副中学校地域教育コーディネーター 竹下 孝英



ほっと一息BOOK&ティータイム

北川副小学校

慌しく過ぎる日々の中でも、音楽や絵本の読み語りや読書、お茶を飲み、ほっと一息ついてほしい。そんな場所を学校の中に作りたいと思い、保護者向けに「ほっと一息BOOK&ティータイム」を小学校のコミュニティルームで始めました。参加された人は「子どもに本を読んでもらうことはあっても、自分が聞くというのは久しぶりでした」「子育ての悩みなどバツッと忘れて、ゆつくりと時が流れる空間ですね。心がすっきり晴れやかに戻って帰れそうです。」と話されていました。疲れたり、悲しかったりなど大人だっただけであり、ここで一息ついて笑顔になってもらえたらと思います。

子どもはお母さんやお父さんの笑顔が大好きです。そして、お母さんやお父さんも子どもが笑顔でいてくれると嬉しいものです。



まなざしリポーター 新郷 典子

鍋島校区のステキなクリスマス

鍋島校区

鍋島には一足早くクリスマスがやってきます。12月23日(水、祝)に20回目となる「パパと作るクリスマスケーキ」と10回目の「中学生サントがやってくる」の事業が開催されました。青少年子ども会の役員さんが講師で、パパやおじいちゃんも子どもがベアになり、クリスマスケーキ作りに挑戦します。この催しは希望者が多く、参加できるのは抽選で当選した人だけです。また夕方は、準備から関わった中学生がサントに扮し、リアカーをソリに見立て音楽を流し、家族から事前に預かったプレゼントを子どもたちに配達します。玄関先に中学生サントが現れると驚きますが、中学生と子どもたちのふれあう素晴らしい時間で、寒い中参加してくれた中学生の顔は、すごく輝いていました。

鍋島小学校地域教育コーディネーター 堤 典子



問い合わせ

佐賀市教育委員会 社会教育課 子どもへのまなざし運動推進室
〒40-7354 旭24-23332 住所 〒840-0814 成章町1番7号 佐賀市青少年センター内